

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

| | | | | | |
|-------|---------|--------|-------------------------------------|---------|-----------------------|
| 都道府県名 | 高知県 | 事業実施主体 | 高知県、芸西村 | 地域再生計画名 | 芸西村「小さくても元気で輝く村づくり計画」 |
| 計画期間 | H23～H27 | 評価責任者 | 芸西村経済建設課長 松本巧、高知県林業振興・環境部治山林道課 松島 誠 | | |

| ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 | 指標 | 基準値 | | 中間目標値 | | 最終目標値 | | 事後評価 | 最終目標値の実現状況に関する評価 | |
|------------------------------|--|-------------------|------------|--------|---|-------|------|------|--|--|
| | | 基準年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 基準年度 | 最終実績 | | | |
| ②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況 | 指標1 | 15分 | H22 | 15分 | H25 | 10分 | H27 | 10分 | 村道の整備により所要時間が短縮されたため、各公共施設や病院等への効率的なアクセスが可能となった。 | |
| | 指標2 | 15ha | H21 | 15ha | H25 | 17ha | H27 | 37ha | その他の事業との相乗効果により、間伐実施面積を大幅に拡大した。 | |
| ③事業の進捗状況 | 事業名 | 整備量（その他の事業では取組内容） | | | | | | | | |
| | | 計画 | 中間年度 (H25) | 最終実績 | | | | | | |
| 特別措置を適用して行う事業 | 村道整備事業（宮ノ東線、和食馬ノ上線） | 0.10km | 0.10km | 0.10km | 整備を行う事により移動時間が短縮され、利便性及び安全性が向上し農作物の効率的な搬出が可能になった。 | | | | | |
| | 林道整備事業（赤野川線） | 0.80km | 0.40km | 0.40km | 計画申請中に実施した事業により目標整備量の半数を達成出来たため最終実績量は半数となっているが、目標量は達成しており間伐面積の推進が図れた。 | | | | | |
| その他の事業 | 道路整備 | 村道猫谷線、防犯灯の整備 | | | | | | | | |
| | 除間伐の促進 | 間伐実施者への単独補助の継続 | | | | | | | | |
| 計画外で独自に実施した事業 | 国土交通省の社会資本整備総合交付金を活用し、村内西部の村道整備を行うと共に、老朽化していた防犯灯の整備を行うことで第三者被害を抑制し歩行者の安心・安全を確保の図った。 | | | | | | | | | |
| | 森林組合を通じ間伐実施時期にある森林の所有者へ、間伐の実施を呼びかけ、林野庁、県の補助を活用した間伐実施者に対し個人負担をなくす見返しの村単独補助を継続して実施した。 | | | | | | | | | |
| ④評価方法 | 指標1：実定にて測定 指標2：緊急間伐総合支援事業の実績による | | | | | | | | | |
| ⑤事後評価の公表方法 | 芸西村のホームページに掲載予定 | | | | | | | | | |
| ⑥計画全体の総合評価 | 村道・林道の一体的な整備により、農林業の振興に貢献し一定の効果をもたらすことが出来た。継続して整備していくことで農林業の振興を推進すると共に地域経済の活性化を図っていく。 | | | | | | | | | |
| ⑦今後の方針等 | 高規格幹線道路高知県東部自動車道の整備を推進し、物流の効率化による農作物搬出ルートへの拡大を図ると共に「四国8の字ネットワーク」の早期整備による南海トラフ地震発生時の速やかな救命活動や緊急物資輸送体制の確保を図る。また、「安心安全で住みやすい村」を基本目標とし道路整備・交通網対策を継続して実施することで雇用の振興・地域経済の活性化を図る。 | | | | | | | | | |